

(国語科)

言語力を高めるための指導の工夫 ―読み取ったことを表現する力へ―

大阪市立茨田西小学校 研修部

1. 主題設定の理由

本校では、『言語力を高めるための指導の工夫』を研究主題とし、一年目は、「適切に言葉を使って、自分の思いを表現する子どもの育成をめざして-」（話すこと・聞くこと）を副題にし、各教室にハンドサインや聞き方・話し方・話型・発表の仕方を示した掲示物を作成し、常に児童が意識できるように環境整備を行った。二年目は、全国学力学習状況調査や大阪市の国語のしんだんの結果から、想像を広げながら読んだり、自分の考えを明確にして読んだりすることに苦手意識を持つ児童が多い傾向が見られたため、「読む力の育成を通して-」（読むこと）を副題とし、研究に取り組んできた。朝の読書タイムや図書の時間だけでなく、隙間の時間を見つけていろいろな本を読む児童は増えてきた。

しかし、昨年度の全国学力学習状況調査や大阪市の国語のしんだんの結果からは、十分な読み取りができておらず、問われていることがわからなかったり、問われている答え方ができていなかったりする結果であった。また、文章を読んで書いたり、条件に当てはめて書いたりする「書くこと」に苦手意識を持っている児童もいた。

本年度は、昨年度より引き続き「読むこと」に重点を置きながら読み取ったことをもとに、考えたことを書き、それを伝え合うことができる力を身に付けさせたいと考え、本主題を設定し、研究に取り組むことにした。

2. 研究の内容

(1) 基礎的・基本的な学力の定着

- ① 読みの基本となる音読の力を高める。
- ② 詩の音読・言葉遊びなどを行い、語彙力を伸ばす。

(2) ワークシートの活用

- ① 児童の思考を促し、多様な考え方を引き出せるように工夫する。
- ② 興味をもって取り組むことができるよう、挿絵や枠組みを工夫する。
- ③ 書く時間を確保する。

(3) 意見交流の場の設定

- ① ワークシートなどに書いた自分の考えをもとに、意見を発表する。
- ② ペア・グループでの話し合い活動を取り入れる。
- ③ ハンドサインを活用する。

(4) 個に応じた支援の工夫

- ① 少人数指導・習熟度別指導・TTなどの授業形態を工夫する。
- ② 支援が必要な児童へ適切な指導や机間指導による状況把握を行う。

(5) 読書活動の充実

- ① 朝の読書タイムや図書の時間を充実させる。
- ② 読書環境を整備する。
- ③ 地域の図書館を活用する。
- ④ 読書カードを書く。

3. 実践事例

第1学年	「サラダでげんき」	第4学年	「ヤドカリとイソギンチャク」
第2学年	「ビーバーの大工事」	第5学年	「新聞記事を読み比べよう」
第3学年	「サーカスのライオン」	第6学年	「風切るつばさ」

4. 研究のまとめ

(1) 研究の成果

① 基礎的・基本的な学力の定着

- 一人読み・一斉読み・一文読み・指名読み・朗読など様々な効果的な読みを工夫した。
- 動作化を行うことで、言葉の意味を視覚的に捉えることができた。また、意欲的に学習に取り組むことができた。
- 詩や言葉遊び、ことわざや俳句の名文などを継続して取り組み、楽しみながら語彙を増やす工夫ができた。
- 国語辞典の使い方など既習学習の再確認を行い、自ら辞書を引き、言葉の意味を調べることができるようになった。

② ワークシートの活用

- マス目にする、罫線を入れるなど個や学年に応じたワークシートを作成した。
- 書く量や内容を考え、裏表のワークシートも作成した。
- 文末の表現に着目し、語句の原形を意識してまとめたり、短い言葉でまとめたりする力が向上した。

③ 意見交流の場の設定

- ハンドサインが定着した。
- ペア交流から全体交流を行う授業展開の流れができた。
- ワークシートに書いてからの交流は、効果的であった。
- 交流アドバイスブックや話し合いカードを活用することで、全員が参加できるようになった。

④ 個に応じた支援の工夫

- 机間指導により、読み取るポイントを伝えた。
- 前時の振り返りができる側面や背面掲示を工夫した。

⑤ 読書活動の充実

- 学校図書館での二冊貸し出しや月1回の地域図書館での貸し出しを行い、学級で読むことのできる本を充実させた。
- 並行読書ができるように、学年での集団貸し出しを積極的に行った。
- 朝の読書タイム、図書の時間はもとより、隙間の時間を見つけて本を読む児童が増えた。

(2) 今後の課題

- 音読を工夫させることで、更に読みを深めていく。
- 動作化は、「読みの確認のためなのか。」「読みを深めるためなのか。」狙いをはっきりさせる。
- ワークシートに記入する量を検討する。
- 声の大きさや見せ方、話し方など相手を意識させ交流ができるようにする。
- 読んだことを表現する力につなげていく。